

第9回 稲門建築会特別功労賞(2006.5.30)

国吉直行



表彰理由：

国吉直行氏は、横浜市の都市デザイン草創期 田村企画調整局時代からその後の都市デザイン室において、その創設から室長として今日まで、4人の市長の下で35年の長きに渡り、一貫して都市デザイン行政の中核に身を置き、横浜市のみならずわが国の都市デザイン活動の定着と展開に尽くされてきた。今日、景観法が制定されるところまでに漸く進むに至ったわが国の都市デザインを振り返る時、氏の主導してきた都市景観、街並みづくり実践活動のもつ先見性と開拓の道程に注目することは、特に意義深い。

とりわけ稻門建築会の多くの建築関係者にとって、正統的な立場で都市と建築のデザインとその質の向上の核心に迫る功績はきわめて大きく、早稲田建築、稻門建築会の発展におおいに貢献したものと認めここに表彰する。

◎経歴：

- | | |
|----------|---|
| 1945年 | 誕生 |
| 1969年 | 早稲田大学理工学部建築学科卒業 |
| 1971年 | 早稲田大学大学院修士課程修了 |
| 1971年～現在 | 横浜市企画調整局に入庁、
都市デザイン担当設立に参加、
以来一貫して横浜市の都市デザイン行政を担当 |
| 1990年～現在 | 早稲田大学非常勤講師
(芸術学校建築設計・都市デザイン科) |
| 1999年～現在 | 全国建設研修センター非常勤講師 (都市デザイン講座) |
| 2005年～現在 | 日本大学大学院非常勤講師 (都市デザイン特論) |
| 1977年 | 日本建築学会賞 / 業績
(横浜市における都市計画活動 / 調整局として) |
| 2004年 | 日本建築学会賞 / 業績
(横浜赤レンガ倉庫の再生に至る一連の活動 / 都市デザイン室として) |
| 2005年 | 日本建築学会賞 / 業績 (クイーン 軸の建築群による
みなとみらい21の都市景観と賑わいの創出 / 整備局として) |

